

令和5年度
砥部町下水道事業会計

決 算 審 査 意 見 書

砥部町監査委員

目 次

1	審査について	
	(1) 審査対象	1
	(2) 審査期日	1
	(3) 審査の方法	1
2	審査の結果	1
3	決算の概要	
	(1) 下水道事業の業務状況	2
	(2) 収支の状況	
	① 収益的収入及び支出	2
	② 資本的収入及び支出	3
	(3) 経営成績	
	① 経常収支について	4
	② 汚水処理原価の状況	4
	③ 費用使途別構成比	5
	(4) 企業債の状況	5
	(5) 資産の状況	6
4	結び	7

凡 例

本書における数値等の取り扱いについては、以下のとおりである。

- 1 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入して表示した。したがって、内訳の計が「合計」又は「小計」の金額と一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで表示した。したがって、内訳の構成比の計が「合計」の数値と一致しない場合がある。
- 3 前年度との比較は、原則として項目ごとに千円単位に四捨五入したうえで、差引数値又は増減比を算出している。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」・・・該当数値はあるが、表示単位未満のもの
 - 「－」・・・該当数値がない場合又は比率で計算不能の場合
 - 「△」・・・負数を示し、増減を示すときは減を表す

1 審査について

(1) 審査対象

令和5年度砥部町下水道事業会計決算

(2) 審査期日

令和6年7月30日

(3) 審査の方法

町長から審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類が地方公営企業法その他関係法令の規定に基づいて作成され、また、それらが事業の経営成績及び財政状態を正確かつ適正に表示しているか否かについて審査した。

審査にあたっては、事業報告書等、事業実態の詳細について、関係職員の説明を聴取し、関係証憑の確認を実施するとともに、例月現金出納検査等の結果も参考とした。

2 審査の結果

決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は証書類と符合し正確であり、当事業の当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示されているものと認められた。

予算の執行は、適正であると認められた。

3 決算の概要

(1) 下水道事業の業務状況

年度	処 理 区 域 人 口 (人)	接 続 人 口 (人)	下 水 道 接 続 率 (%)	汚 水 処 理 人 口 普 及 率 (%)	日 平 均 汚 水 処 理 量 (m ³)	年 間 有 水 収 量 (m ³)	有 収 率 (%)
5	10,094	7,618	75.5	80.8	2,073	756,986	100.0
4	9,855	7,375	74.8	80.3	1,951	714,433	100.3

(2) 収支の状況

① 収益的収入及び支出

単位：千円

		5 年度		4 年度
		予算現額	決算額	決算額
収 入	営業収益	153,636	155,830	150,762
	営業外収益	315,033	310,671	306,279
	特別利益	347	599	—
	計	469,016	467,100	457,041
支 出	営業費用	453,043	433,262	438,333
	営業外費用	3,059	3,018	2,257
	特別損失	60	—	3,517
	予備費	1,000	—	—
	計	457,162	436,280	444,107
収支差引額		11,854	30,820	12,934

収入は、予算現額4億6,901万6千円に対し、決算額4億6,710万円で、収入率は99.6%となっている。

支出は、予算現額4億5,716万2千円に対し、決算額4億3,628万円で、執行率は95.4%となっている。

決算額における収入と支出の差額は3,082万円の黒字となっている。

② 資本的収入及び支出

単位：千円

		5 年度		4 年度
		予算現額	決算額	決算額
収 入	企業債	214, 000	154, 000	144, 700
	固定資産売却代金	297	87	—
	補助金	138, 317	121, 163	127, 879
	負担金及び分担金	10, 623	17, 045	16, 811
	他会計負担金	12, 000	3, 402	3, 000
	他会計出資金	20, 000	20, 000	20, 000
	計	395, 237	315, 697	312, 390
支 出	建設改良費	460, 348	333, 230	280, 251
	企業債償還金	160, 706	160, 705	156, 748
	基金組入支出	33	33	22
	計	621, 087	493, 969	437, 022
収支差引額		△ 225, 850	△ 178, 272	△ 124, 632

収入は、予算現額3億9,523万7千円に対し、決算額3億1,569万7千円で、収入率は79.9%となっている。

支出は、予算現額6億2,108万7千円に対し、決算額4億9,396万9千円で、執行率は79.5%となっている。なお、建設改良費1億1,796万5千円を翌年度へ繰り越している。

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額16,000,000円を除く。）が資本的支出額に対し不足する額194,272,030円については、前年度から繰り越された支出に係る充当財源65,250,000円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額17,903,659円及び過年度分損益勘定留保資金111,118,371円で補てんしている。

(3) 経営成績

① 経常収支について

単位：千円

		5 年度	4 年度
経常 収益	営業収益	142,150	137,545
	営業外収益	294,133	293,986
	計 (A)	436,283	431,531
経常 費用	営業費用	419,903	424,386
	営業外費用	4,008	3,118
	計 (B)	423,911	427,504
経常損益 (A) - (B)		12,372	4,026
特別 損益	特別利益	544	—
	特別損失	—	△ 3,515
当年度純利益		12,916	512

経常収支は、経常収益4億3,628万3千円に対し、経常費用4億2,391万1千円で、特別利益を加えた当年度純利益は1,291万6千円となっている。

② 汚水処理原価の状況

単位：m³・円／m³・%

年 間 有 収 水 量			汚 水 処 理 原 価		
5 年度	4 年度	増減率 (5 年度： 4 年度)	5 年度	4 年度	増減率 (5 年度： 4 年度)
756,986	714,433	6.0	237	263	△ 9.9

汚水処理原価は237円／m³となっている。

③ 費用使途別構成比

単位：千円・％

	5 年度		4 年度		増減率 (5 年度 : 4 年度)
	金額	構成比	金額	構成比	
人件費	44,927	10.6	48,128	11.2	△ 6.7
動力費	21,206	5.0	24,223	5.6	△ 12.5
物件費その他	114,265	27.0	115,952	27.0	△ 1.5
減価償却費等	240,738	56.8	236,083	54.9	2.0
支払利息	2,775	0.7	2,257	0.5	23.0
特別損失	—	—	3,515	0.8	—
計	423,911	100	430,158	100	△ 1.5

使途別では、減価償却費等及び物件費その他が主に占めている。

前年度対比では、減価償却費等・支払利息が増加し、人件費・動力費・物件費その他が減少している。

(4) 企業債の状況

単位：千円

資 金 区 分	4 年度末残高	年 度 中		5 年度末残高
		借入額	償還額	
財政融資資金	3,413,320	154,000	121,881	3,445,439
旧簡保資金	249,423		16,897	232,526
地方公共団体金融機構資金	261,590		20,817	240,773
銀行等引受資金	9,933		1,111	8,822
計	3,934,265	154,000	160,705	3,927,560

管渠布設工事等に伴い、1 億 5,400 万円を借り入れ、未償還残高は 670 万 5 千円減少し、39 億 2,756 万円となっている。

(5) 資産の状況

単位：千円

		5 年度	4 年度	増 減
固定資産	有形固定資産	9,063,465	8,990,946	72,519
	基金	108,013	107,980	33
	計	9,171,478	9,098,926	72,552
流動資産	現金・預金	307,725	320,748	△ 13,023
	未収金	42,999	36,472	6,527
	前払金	32,000	61,000	△ 29,000
	計	382,724	418,220	△ 35,496
合 計		9,554,202	9,517,146	37,056

固定資産は、管渠整備等に伴い7,255万2千円増加しており、除却及び減価償却後の未償却残高は91億7,147万8千円となっている。

流動資産は3,549万6千円減少し、3億8,272万4千円となっている。

基金明細

単位：千円

	5 年度当初残高	年 度 中		5 年度末残高
		増加額	減少額	
町有施設管理基金	96,943	29		96,972
浄化槽保守点検事業運営基金	11,037	4		11,041
計	107,980	33	0	108,013

浄化槽事業で保管する基金は、預金利息を積み立て、1億801万3千円となっている。

4 結び

下水道管渠敷設工事などに多額の費用を要しているが、適正な入札執行等により経費の節減に努めていることが窺える。

確認した書類の計数に問題はなく、経営状況も概ね良好であると見受けられた。

公営企業を取り巻く環境は、人口減少による料金収入減少や施設の老朽化による更新需要の増加で、今後ますます厳しくなることが予想されるため、引き続きコスト意識を持った効率的な執行と徹底した経費節減に努められたい。

また、公共下水道全体計画区域の縮小を踏まえ、令和6年度に改定する「下水道経営戦略」において、投資・財政計画を詳細に見直すなど、更なる経営の効率化・健全化への取組を推進されたい。

この事業の一番の課題は「接続率の向上」にあると思われるので、これについて不断の努力を望むものである。